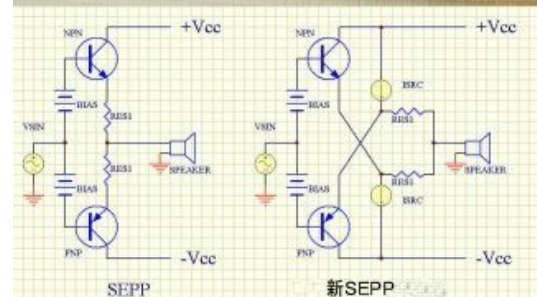


ルビジウムクロックCDプレーヤを 新作Ver11 SATRIアンプと ツイータアレイ2Wayスピーカで聞く

以前に水晶を OCXO (オープン型クォーツオシレータ) に入替えた Sony の CD プレーヤ SCD-XE6 を今度はルビジウム発振器によるスーパークロック (256fs : 11.2896MHz) におき替えた。これを最新 SATRI 出力回路の Ver11 回路搭載のアンプでウッドコーン+4連ドームツイータアレイのスピーカで今日は聞かせていただくことにする。



ルビジウムクロック : 今回のルビジウム発振器は FEI Communications, Inc. の FE-5680A というもの。発振源にルビジウム原子を用いて約 6.8 GHz で発振している。それを 136 分周した後 DDS (Direct Digital Synthesizer) により希望周波数を出力する。今回は 44.1 kHz の 256 倍、11.2896 MHz に設定し CD プレーヤの水晶発振器に置き替える。

Ver11 SATRIアンプ : 出力段のバイス電流を信号電流と分離する目的で 2 つの定電流源により供給。並列型バランスシングル回路ともいべきタイプ。

4連ドームツイータ : 4 つのドームツイータをパラ接続し、パワーの分散による低歪みとアレイ配置による高域の拡散と指向性制御を目的としたスピーカ。

ウッドコーンスピーカ : コーン紙に木の薄板を成型した物を使ったスピーカ。ビクターが最初に発売したが、今回は PARC オーディオがユニット販売しているものを使用。

